|  |
| --- |
| **１．これまでの教育改革の取組と今後の方針　【１ページ以内】** |
| **事業責任大学及び参加校の改革方針及び本事業の位置付け等（１ページ以内）**  ○　過去の中教審答申、政府方針、建学の精神等を踏まえた、現在（令和４年４月）までの大学全体の教育改革に関する取組状況、現在抱える問題点及びその定量的な分析、それらを踏まえた今後の改革構想を記入してください。その際、その改革構想に占める申請事業の位置付けを明確にしてください。 |
| （事業責任大学：〇〇大学）  （参加校：〇〇大学）  （参加校：〇〇大学） |

|  |  |
| --- | --- |
| **２．事業の目的及び概要【７ページ以内】** | |
| **①事業の目的・概要等（５ページ以内）**  　○　事業の目的及び概要、事業を通じて達成する数値目標について記入してください。  　○　数値目標については、目標値の妥当性や設定した根拠を説明してください。 | |
| 【事業の目的及び概要】 | |
| 【事業の共通目標】  【共通目標以外の設定目標】※各大学等個別の目標や役割等について記載をお願いします。  【事業協働機関の役割】  （地方公共団体の役割）  （企業等の役割）  （金融機関の役割）  【大学等連携推進法人設立に向けた準備状況・計画】  【学部等の再編に向けた構想について】※タイプ①のみ  ・取組スケジュールについての記載は必須です。 | |
| **②事業の概念図（１ページ以内）**  ○　本事業で取り組む内容が分かるように作成してください。 | |
| ・大学等連携推進法人制度を活用した連携についても記載ください。 | |
| **③本事業における大学等、地方公共団体、企業、金融機関等の地域連携プラットフォーム図（１ページ以内）**  ○　それぞれの役割分担が分かる図を作成してください。 | |
| ・大学等以外の事業協働機関が、どのように事業に参画するか、具体的に記述をお願いします。 | |
| **３．対象地域における課題等**【合わせて２ページ以内】 |
| **①対象地域で求められる人材像及び身に付けるべき資質・能力等【１ページ以内】**  ○　対象地域で求められる人材像及び身に付けるべき資質・能力等について、その根拠となるデータや地方公共団体の文書等を含めて記入してください。 |
| 【対象地域で求められる人材像】  【当該人材が身に付けるべき資質・能力等】  ※分野横断的に課題解決に挑むという観点も踏まえて記載してください。  【その根拠となるデータ】  【地方公共団体の文書等（引用）】 |
| **②事業責任大学の目的・目標を踏まえた対象地域の設定の考え方と対象とする理由【１ページ以内】**  ○　対象地域の設定の考え方及び申請大学が事業責任大学となる必要性・重要性について、これまでの参加校となる他の大学、地方公共団体、企業、NPO、民間団体等との連携の実績も含めて記入してください。 |
| 【対象地域の設定の考え方と対象とする理由】  【事業責任大学となることの必要性・重要性】  【参加校との連携実績・準備状況】※あれば |

|  |
| --- |
| **４．本事業で行う教育プログラムについて**【①～⑤合わせてプログラム毎に５ページ以内】  ○各大学における取組を示すために、学位プログラムごとに４．を作成してください。 |
| 1. **本事業の対象となる学位プログラムが置かれる学部・学科等名** |
|  |
| **②プログラム責任者** |
| （職名） |
| **③教育内容（授業科目等）及び教育方法（３ページ以内）**  　○　可能な限り具体的かつ詳細に記入してください。  　○　現状と対比させる形で、本事業を通じてどのように教育プログラムを再構築するのか分かるように記入してください。  　○　授業科目等は教育する年次又は順番が分かるように記入し、構築する教育プログラムが単発の授業科目の開設や相互関連の薄い授業科目の羅列ではなく、それぞれの授業科目等が相互関連しており、体系的に構想されていることをカリキュラムマップ等を活用し、説明してください。  　○　構築する教育プログラムを履修した学生が、その履修を通じて修得した能力の向上により、対象地域に定着し、活躍することを見通すことのできる教育内容及び教育方法となっている根拠についても記入してください。 |
| 【教育内容の概要】  ※教育内容の全体像が見えるようカリキュラムツリーを作成してください。  ※文理横断型教育（STEAM教育）・地域課題PBL・地域学の位置付けを示してください。  ※主要となる教員等の配置を示してください。 |
| ［現状］ |
| ［計画］ |
| 【卒業単位】  ○単位  【連携開設科目数】  ○単位 |
| **④プログラムの学修成果**  　○　プログラムの学修成果と、３.①に記入した「当該人材が身に付けるべき資質・能力等」との対応関係を、カリキュラムマップ・カリキュラムツリー等を活用し、記入してください。  　○　プログラムの受講により授与される称号（学位等）や学修証明等があれば記入してください。 　　　※職業実践力育成プログラム（BP）の認定を受ける場合はここに記入してください。 |
| 【対象地域で求められる人材が身に付けるべき資質・能力との対応関係】 |
| **⑤ファカルティ・ディベロップメント等**  　○　授業を担当する教員全員が、共通理解をもって教育プログラムの構築・実施に取り組むために、対象地域のニーズや開発する教育プログラムの内容をどのように共有するのか記入してください。  　○　再構築する学位プログラムを実施していくために、どのような教員体制を構築するのか、また、どのようなファカルティ・ディベロップメントを実施するのかを具体的に記入してください。  　○　大学教職員のみならず、出口となる企業等の参加大学への共通理解促進のための取組や研修等を実施する場合はここに記入してください。 |
|  |

|  |
| --- |
| **５．高大接続に係る取組と社会人等を対象とした履修証明プログラムや講座等について**  ○　高大接続に係る取組について、これまでの実績及び今後の取組に向けた準備状況を含めて、計画内容を具体的に記入してください。  ○　社会人等を対象とした履修証明プログラムや講座等について、計画内容を具体的に記入してください。 |
| **①高大接続に係る取組（１ページ以内）** |
| 【計画内容】  　※実施体制図も記入すること  【実績・準備状況】 |
| **②社会人等を対象とした履修証明プログラムや講座等について（１ページ以内）**  ○　複数の履修証明プログラムや講座等を構想する場合は、プログラムごとに②を作成してください。 |
| 【履修証明プログラムや講座等の名称】  【授業科目一覧】  ※欄が不足する場合は、適宜追加してください。   |  |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | No. | 授業科目名 | 開設学科等 | 受講  形態 | 履修  年次 | 単位  数 | 新設/  既存 | 備考※開設する大学名等について記載願います。 | | 1 | ○○論 | ○○学科 | 講義 | 3 | 2 | 既存 |  | | 2 | ○○研究 | ○○学科 | 演習 | 4 | 4 | 新設 |  | |  |  |  |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  |  | |

|  |
| --- |
| **６．実施体制と情報の公開、成果の先進性・普及**【①～⑥合わせて７ページ以内】  ○　事業の実施に伴う大学の組織整備と情報公開、成果及びその普及について、①～⑥の内容を実績・準備状況を踏まえて、計画内容を具体的に記入してください。 |
| **①事業責任大学の学内の実施体制（１ページ以内）**  ○　事業の取組に対応するため、学長のリーダーシップの下、適切な人材配置や予算配分を行うための体制をどのように整備するのかを記入してください（事務局機能を強化するなど事業の実施をサポートする全学的体制の充実、業務が一部の教職員に偏らないよう、窓口となる担当部署を設定し、教職員間の情報共有、意思疎通や各種問い合わせへの対応、事業運営上の関係者間の調整、監事による事業の実施に係る業務監査など）。  ○　対象地域のニーズを受け止める体制をどのように整備したのか記入してください。 |
| 【計画内容】  　※実施体制図も記入すること  【実績・準備状況】 |
| **②地域連携プラットフォーム等における連携体制（３ページ以内）**  ○　対象地域の構成員間で構築する連携体制における「議論の場」である「地域連携プラットフォーム」等の名称を記入してください。  ○　「地域連携プラットフォーム」等において教育プログラムの検討に関わるメンバー（「教育プログラム検討委員会」）を記入してください。  ○　「議論の場」と「教育プログラム検討委員会」それぞれがどのような役割を担うのかを具体的に記入してください。特に「議論の場」は対象地域における意思決定の場として、学長等の責任者がどのように関わるのか明確に記入してください。 |
| 【「地域連携プラットフォーム」等の名称】  【「地域連携プラットフォーム」等の構成員等】   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 事業協働機関の名称 | | 構成員の所属・職名 | 役割等 | | 1 | ○○大学 | 学長 | 本事業の責任者 | | 2 | ○○大学 |  |  | | 3 | □□県 |  |  | | 4 | □□市 |  |  | | 5 | □□市 |  |  | | 6 | (株)△△ |  |  | | 7 | 一般社団法人△△ |  |  | | 8 | 認定ＮＰＯ法人○○ |  |  |   【「地域連携プラットフォーム」等の役割】  【教育プログラム検討メンバー】   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 事業協働機関の名称 | | 構成員の所属・職名 | 役割等 | | 1 | ○○大学 | 学長 | 本事業の責任者 | | 2 | ○○大学 |  |  | | 3 | □□県 |  |  | | 4 | (株)△△ |  |  | | 5 | (株)◆◆ |  |  | | 6 | 一般社団法人◇◇◇ |  |  |   【教育プログラム検討委員会の役割】  【これまでの連携実績・準備状況】※あれば  【学位プログラムの構築にあたっての産業界・地方公共団体・金融機関それぞれの関わり方】 |
| **③対象地域におけるコストシェアの考え方（役割分担）（１ページ以内）**  ○　事業を実施するために必要な人的・物的・財政的負担の在り方について、事業協働機関それぞれの役割に基づいて説明してください。  ○　コストシェアが現実的なものであることが分かるようにこれまでの実績や現段階の準備状況についても記入してください。 |
| 【計画内容】  【実績・準備状況】 |
| **④事業の実施、達成・進捗状況の評価体制**  ○　評価指標の適切性の判断や達成状況など、事業の進捗状況を把握する仕組みについて、補助期間中及び補助期間終了後の体制を具体的に記入してください。特に、外部評価の仕組みについては必ず記入してください。  ○　評価結果をその後の事業展開に反映させるようなPDCAサイクルが確立されていることが分かるように記入してください。 |
| 【計画内容】  【実績・準備状況】 |
| **⑤事業成果の先進性**  ○　事業成果は、自大学だけでなく我が国の高等教育全体にとっても先進性を有するものであるか、また、先駆的なモデルとなり、取組を波及させる手法及び計画が見込まれるものであるかを分かるように記入してください。 |
| 【事業成果】 |
| **⑥対象地域内外への情報提供の方法・体制**  ○　構築する教育プログラムの質を保証する観点や学生の適切な判断・選択に資する観点から、取組の実施状況等、必要な情報を積極的に発信する計画となっているか分かるように記入してください。  ○　取組を通じて得られた成果について、ホームページ等による公表の他、報告会、発表会等の報告の場を設けて、大学や学生、地方公共団体及び産業界等への普及を図るものとなっているか分かるように記入してください。 |
| 【計画内容】  【実績・準備状況】 |

|  |
| --- |
| **７．事業の実施計画**【①～④で８ページ以内】  ○　事業全体の「年度別実施計画」、「補助期間終了後の継続性」及び「補助期間終了後の資金計画」について、具体的に分かりやすく記入してください。 |
| **①６年間の事業実施計画の概要**  ○　６年間の実施計画の概要を計画の進捗状況の概略が分かる図を用いて記入してください。 |
|  |
| **②年度別実施計画（６ページ以内）**  ○　当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容を記入してください。 |
| 【令和４年度（申請時の準備状況も記入）】  （事業責任大学）  （参加校）  （対象地域における全体計画） |
| 【令和５年度】  （事業責任大学）  （参加校）  （対象地域における全体計画） |
| 【令和６年度】  （事業責任大学）  （参加校）  （対象地域における全体計画） |
| 【令和７年度】  （事業責任大学）  （参加校）  （対象地域における全体計画） |
| 【令和８年度】  （事業責任大学）  （参加校）  （対象地域における全体計画） |
| 【令和９年度】  （事業責任大学）  （参加校）  （対象地域における全体計画） |

|  |
| --- |
| **③補助期間中の自己負担率を高めるための具体的計画**  ○　補助期間中において、事業協働機関からの追加的支援や外部資金も含めた自己負担比率を高めるための具体的計画を記入してください。 |
|  |
| **④****補助期間終了後の継続性**  ○　補助期間終了後においても地域の人材ニーズを踏まえた教育改革のサイクルが継続し、かつ、公的な支援だけに依存することのない、資金循環メカニズムの具体の内容について記入してください。 |
|  |

|  |
| --- |
| **８．他の公的資金との重複状況** 【①～②で１ページ以内。なお、参加校に該当があり記入欄が足りない場合は、各大学①～②で１ページ以内であれば添付可とする】  ○　当該申請大学等において、今回申請している内容以外に、文部科学省が行っている大学改革推進等補助金、研究拠点形成費等補助金、国際化拠点整備事業費補助金等、又は独立行政法人日本学術振興会が行っている国際交流事業の補助金等による経費措置を受けている取組がある場合、また、現在申請を予定している取組がある場合は、それらの事業名称及び取組内容について、１事業につき３～４行程度を目安に記入してください。その中で、今回の申請内容と類似しているものがある場合には、その相違点についても言及してください。  ○　該当の事業がない場合は、「該当なし」と記入してください。 |
| **①過去の大学改革推進等補助金の実施状況、継続状況**  ○　今まで大学改革推進等補助金による経費措置を受けていた場合は、それらの名称、内容について全て記入してください。その際、現在の取組状況についても記入してください（１事業について３～４行程度）。なお、今回の申請に繋がる取組の場合は、どのように発展・充実させたか分かるように記入してください。 |
| 【大学名】  ＜事業名○○＞  取組内容・・・・  ＜事業名○○＞  取組内容・・・・ |
| **②他の公的資金との関係**  ○　文部科学省及び他省庁や地方公共団体等の事業により類似の支援を受けている、又はこれから受ける可能性がある場合は、事業名・概要・本申請との関係を記入してください。 |
| 【大学名】  ＜事業名○○＞  （概要）  ・・・・・・  （本申請との関係）  ・・・・・・  ＜事業名○○＞  （概要）  ・・・・・・  （本申請との関係）  ・・・・・・ |